

平成29年第4回定例会 一般質問通告一覧表

氏名(受付日時)	番号	質問事項	質問の具体的な内容
1. 蜂須賀千雅 11月17日 8:30	1	都営向原団地創出用地について	<ul style="list-style-type: none"> ① 東京都の東大和市向原地区プロジェクトについての経緯と現状について ② 都営向原団地創出用地に対する東京都の現在の考え方について ③ 東京都における特別支援学校の設置に対する考えとその経緯について ④ 東京都から示された特別支援学校の近隣へのメリットに対する東大和市の考えについて ⑤ 都営向原団地創出用地の特別支援学校以外の活用、例えば病院用地としての活用やその他の活用の可能性についての市の考えは ⑥ 今後の都営向原団地創出用地への東大和市の対応について
	2	市内各駅周辺の自転車等駐車場の有料化について	<ul style="list-style-type: none"> ① 各駅整備工事終了後、順次有料化が始まっているが、現状と課題、今後の対応について ② 定期利用申し込みにおける現状、課題、今後の対応について ③ 市民から寄せられている要望等について
	3	口腔の健康について	<ul style="list-style-type: none"> ① 小・中学生での口腔崩壊と言われる状態の子どもについての現状、課題、今後の取り組みについて ② 学校歯科保健活動の現状と課題、今後の対応について ③ 成人歯科検診についての現状と課題、今後の対応について
2. 根岸 聡彦 11月17日 8:31	1	子育てしやすいまちづくりについて	<ul style="list-style-type: none"> ① 子育て環境の整備について <ul style="list-style-type: none"> ア 現状に対する認識は イ 今後の課題と展望は ② 子育て支援施策について <ul style="list-style-type: none"> ア 取り組みに対する現時点での成果は イ 今後進めようとしている施策は
	2	東大和市の緑地について	<ul style="list-style-type: none"> ① 緑地の保全について <ul style="list-style-type: none"> ア 緑地保全に向けた取り組みの状況は イ 緑地に生息する動植物の適正な管理に対する取り組みは ウ 今後の課題は ② 狭山緑地の管理について <ul style="list-style-type: none"> ア 管理施設の整備状況は イ 今後必要とされる対策は
	3	都市農業の振興について	<ul style="list-style-type: none"> ① 都市農業に対する支援施策について <ul style="list-style-type: none"> ア 市内農地の現状に対する認識と課題、今後の対応は イ 市内の農家に対する支援施策の現状と対応策は ② 東大和市の特産品について <ul style="list-style-type: none"> ア 特産品に対する市の考え方は イ JAをはじめとする関係団体との連携状況は ウ 今後の課題と対策は

(実川 圭子)	2	子ども・子育て支援について	<ul style="list-style-type: none"> ① 子ども・子育て支援事業計画中間見直し（素案）のパブリックコメントについて ② 子どもを中心に据えた施策を実現するための取組について ③ 子ども宣言や子ども条例の策定について
	3	自転車等駐車場整備について	<ul style="list-style-type: none"> ① 有料化後の利用状況と課題について <ul style="list-style-type: none"> ア 定期利用と一時利用のそれぞれの課題について イ 有料化に関しての事前の周知について ② 不足している状況をどう捉えて、解消していくのか。
7. 上林真佐恵 11月21日 17:00	1	学童保育所について	<ul style="list-style-type: none"> ① 学童保育の待機児童対策について、取り組みの進捗と課題を伺います。 ② 「放課後子ども総合プラン」に基づく東大和市の行動計画について、取り組みの進捗と課題を伺います。
	2	市内の公共交通空白地域への対応について	<ul style="list-style-type: none"> ① コミュニティ交通等の取り組みの進捗と課題を伺います。
	3	子どもの健康や教育・学校環境について	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校トイレの改善について、取り組みの進捗と課題を伺います。 ② 小・中学校の鑑賞教室について、効果と今後の課題を伺います。 ③ 通学時や放課後等の安全確保について伺います。 ④ 18歳以下の子どもの医療費について伺います。
8. 中間 建二 11月22日 13:42	1	3市共同資源物処理施設建設に係る都市計画決定について	<ul style="list-style-type: none"> ① 市議会や地域住民の理解が得られないまま都市計画決定に至ったことをどのように総括し、反省をしているのか。 ② 3市共同資源物処理施設整備地域連絡協議会が解散された理由と今後の対応は
	2	「日本一子育てしやすいまちづくり」の実現に向けての取り組みと人口減少対策について	<ul style="list-style-type: none"> ① 「日本一子育てしやすいまちづくり」を目指す本市の子育て施策の中で、他の自治体と比較して優れているものは何か。 ② 今後、さらに充実させていく施策は何か。 ③ 子育て世代に本市へ移り住んでいただくためには、ホームページやSNS等を活用した広報戦略と情報発信が重要と考えるが、どのように取り組んでいかれるのか。 ④ 本市のブランド・プロモーションでは、どのような取り組みを行っていくのか。
	3	小中一貫教育とコミュニティ・スクールの推進について	<ul style="list-style-type: none"> ① これまでの小中一貫教育の推進の中で、どのような取り組みが行われているのか。また、どのような成果があったのか。 ② コミュニティ・スクールに発展させていくために、どのような取り組みを行っていくのか。
	4	マイナンバーカードの普及と利活用について	<ul style="list-style-type: none"> ① マイナンバーカードの普及状況と現状の利活用の状況はどのようなものか。 ② 保育園の入園手続等をマイナポータルで行う子育てワンストップサービスについて、どこまで準備が進んでいるのか。

(中間 建二)			③ 更なる利活用と利便性の向上について、どのように取り組んで行かれるのか。
<p>9. 木戸岡秀彦 11月22日 14:04</p>	<p>1 自転車等駐車場の有料化後の対応について</p> <p>2 障害者・高齢者に優しい公共施設のバリアフリー化の推進について</p> <p>3 路面下の空洞調査及び対策について</p> <p>4 特別支援学級の増設について</p>		<p>① 各駅（玉川上水駅、桜街道駅、上北台駅、東大和市駅、武蔵大和駅）の駐車場の状況について伺う。 ア 駐車場の有料化による整備後に、自転車等が駐車出来ないとの市民からの声を多くいただいている。早急な対策を講じてもらいたいと考えるが、市の考えは イ 各駅の定期利用の契約状況及び一時利用の状況について ウ 障害者、高齢者及び自転車等の形状によって駐車できない方のための駐車場の対応はどのようなになっているのか。また、今後どのように対応していくのか。 エ 近隣他市の状況について伺う。 オ 今後の対応と計画について、どのように検討してるか。</p> <p>① 市は公共施設のバリアフリー化に対しどのように取り組んでいるのか。 ② 武蔵野市はバリアフリー法に基づく基本構想を策定し、推進しているが、当市としても取り組むべきと考えるが、市の見解を伺う。 ③ 学校行事や交流の場において、車椅子を利用している障害者の方は、昇降口や体育館入口は段差があり移動が困難であるため、各学校にスロープは置けないか。 ④ 玉川上水駅北口には下りエスカレーターがなく、高齢者などから設置の要望を多くありますが、市として設置要望をしていただけないか。</p> <p>① 試験的に空洞調査を行うと聞いているが、実施予定について伺う。 ② 空洞調査の結果を踏まえて、路面下の公共インフラについて今後長寿命化対策を強化すべきと考えるが、この点についての市の見解を伺う。</p> <p>① 中学校の特別支援学級が、地域により通いづらいという市民の声を聞いているが、他校にも設置できないか。 ② 中学校の特別支援学級の生徒数の推移と傾向について伺う。 ③ 他市の状況について</p>
<p>10. 中野志乃夫 11月22日 14:46</p>	<p>1 自転車等駐車場の有料化に伴う問題について</p> <p>2 向原都営団地跡地問題のその後の動きについて</p> <p>3 通院介護の対応について</p>		<p>① 周知期間は適切だったか。 ② 各駅とも駐輪できる台数は十分と考えるか。 ③ 原付以外のバイクの置き場はどう考えるのか。</p> <p>① 特別支援学校設置を求める東京都教育委員会との交渉は進んでいるのか。</p> <p>① 障害者が居住地より遠い病院に通っているためヘルパーによる通院介護を求めた場合、近くの病院でも通えるかどうか必ず医師に確認を障害者本</p>

(中野志乃夫)			人から求めてもらっていると指摘されたが、いつからそうした指導を行っているのか。何故、そうした指導を行っているのか。
11. 佐竹 康彦 11月22日 14:47	1	学校教育の充実について	<p>① 理数教育のさらなる充実について</p> <p>ア 今年度で終了をする「学力ステップアップ推進地域指定事業」や、「理数授業特別プログラム事業」の成果はどのようなものか。</p> <p>イ 平成30年度以降の小中学校における理数科目の教育について、どのような展開をしようと考えているのか。</p> <p>② プログラミング教育について</p> <p>ア 平成24年(2012年)に中学校において必修化されたプログラミング教育の現状はどのようなものか。</p> <p>イ 2020年に必修化される小学校でのプログラミング教育について、展望はどのようなものか。</p> <p>ウ 小学校での必修化に際して、教員の研修、学校でのICT機器のさらなる整備をどのように考えているか。</p> <p>エ 市民や民間等の力を取り入れて、プログラミング教育に取り組むことも有効と考えるが、市教育委員会の考えはどうか。</p> <p>③ 「図書館を使った調べる学習コンクール」について</p> <p>ア 今年度の「図書館を使った調べる学習コンクール」の取り組み状況と成果について伺う。</p> <p>④ 中学校吹奏楽部の楽器類の充実について</p> <p>ア 中学校吹奏楽部の部活動において、生徒が使用する楽器類の提供はどのように行われているのか。</p> <p>イ 使用される楽器の状態はどのようなものか。このことについて、教員や生徒からはどのような要望があるのか。</p> <p>ウ 市内外の方から、未使用の楽器を寄付してもらい、吹奏楽部の楽器充足に資するようにはどうか。</p>
	2	認知症対策について	<p>① 市の認知症患者の推移について</p> <p>ア 今年度までの患者数の推移はどのようなものか。</p> <p>イ 今後の患者数の推移はどのようになっていくと予想されているのか。</p> <p>② 認知症初期集中支援の取り組みについて</p> <p>ア 事業内容の詳細について、どのような取り組みをしていくのか。詳細を伺う。</p> <p>a 事業に取り組む人員、予算の詳細</p> <p>b 初期診断の方法</p> <p>c 自立支援、家族支援のあり方</p> <p>d 相談窓口の体制</p> <p>イ 初期集中支援による効果をどのように見込んでいるのか。</p> <p>③ 認知症の早期発見に関する取り組みについて</p> <p>ア 早期発見の取り組みとして、先進事例などを参考に進めていくことに対する市の考えはどのようなものか。</p>

(東口 正美)	4	木育について	<p>とされているが、その計画はどのようなになっているのか。</p> <p>⑥ 今後、より良い保全活動を行うための市の見解と計画を伺う。</p> <p>① 木育とは、どのようなものか。</p> <p>② ウッドスタートを行い、木育に取り組んでほしいと考えるが市の見解を伺う。</p>
<p>14. 荒幡 伸一 11月24日 10:01</p>	<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>がん治療と仕事の両立支援について</p> <p>小中学校の文化的・体育的交流事業について</p> <p>小中学校の体育の推進について</p> <p>多摩湖周辺の賑わい創出について</p>	<p>① がん患者が、治療と仕事を両立できる環境づくりの必要性について</p> <p>② がんに対する旧来の認識を払しょくするための啓発活動について</p> <p>③ がん患者と事業者、主治医が情報を共有することができれば、継続雇用につながると考えますが、国のガイドラインに示された情報提供書の活用について</p> <p>④ がん相談支援センターの設置について</p> <p>⑤ がん患者等への支援における図書館の情報のハブとしての活用について</p> <p>ア がん患者等への支援における図書館の役割について</p> <p>イ がん患者の悩みや不安は単に治療面のみならず、社会保障制度の利用も含む経済面や就労面にも及んでいます。この問題の専門家である社会保険労務士による個別面談支援について</p> <p>① 現在実施している交流事業について</p> <p>② 児童全体の運動レベルの底上げや交流を深めるために、市内全小学校の6年生が一同に集い、年に一度の大運動会開催についてのメリットとデメリットについて</p> <p>③ 生徒の団結心や協調性を高めるために、市内全中学校の3年生が一同に集い、年に一度の合唱コンクール開催についてのメリットとデメリットについて</p> <p>① パラリンピック競技への理解を深め、多様性を学ぶためにも、体育の授業にパラリンピック競技を取り入れられないか。</p> <p>② パラリンピック競技大会の開催について</p> <p>① 多摩湖周辺や狭山丘陵の四季折々の自然を生かした町おこしについて</p> <p>② 東京都と連携し、桜まつりのようなイベントを開催することの問題点と課題について</p>
<p>15. 尾崎 利一 11月24日 10:02</p>	1	<p>参議院宿舎跡地、警視庁未利用地や都営東京街道団地・向原団地の創出地またみのり福祉園跡地、学校給食センター跡地など国・都・市有地の活用と福祉施策やスポーツ施策の拡充について</p>	<p>東大和市内には未利用の国有地が約3万㎡、未利用の公有地が約11.7万㎡あり、市の未利用地としてはみのり福祉園跡地と4月廃場の2つの学校給食センター用地を合わせて約7千7百㎡になります。市民の福祉の向上に役立てるべきです。</p> <p>① 公有地の活用はいま大きく動き出しており、福祉施設やスポーツ施設の整備など市民の暮らしの向上に役立てる大きなチャンスとして毎議会で取り上げてきました。新生児集中治療室(NICU)など医療環境の遅れや買物難民などについて</p>

(尾崎 利一)	2	都営東京街道団地の創出地に整備予定の運動広場や桜が丘市民広場について	<p>でも取り上げてきたところでは、現在の到達点とこの間の推移、市の取り組みについて伺います。</p> <p>東大和市内のスポーツ施設が不足していることは市も認めているところです。</p> <p>① 桜が丘市民広場については、冬期は午後4時までしか利用できず平日は児童生徒の放課後利用が不可能になっている現状について、改善を求めてきました。市の見解と取り組みを伺います。</p> <p>② 東京街道団地の創出地に整備予定の運動広場の整備計画について伺います。</p>
	3	国民健康保険の広域化に伴う保険税値上げなどの諸問題について	<p>① 東京都の国民健康保険運営協議会が11月21日に開催されました。ここで明らかになった点について伺います。</p> <p>② 広域化に伴う国民健康保険税の値上げに反対します。現在の市の考えについて伺います。</p>
	4	第7期介護保険事業計画について	<p>① 第7期介護保険事業計画で拡充されるべきサービスについて伺います。</p> <p>② 平成27年度から29年度の第6期介護保険事業計画では、保険料の値上げを抑えるために3億円の基金を3年間ですべて取り崩すことになっていましたが、実際には29年度末の基金残高見込みは6億4,500万円となりました。1億3千万円の保険料値上げは必要なかったこととなります。市は6億4,500万円を保険税の軽減のために使うと答弁しています。この基金を取り崩し、第7期には保険料を値下げするよう求めますが、いかがですか。</p>
	16. 中村庄一郎 11月24日 10:56	1	防災対策について
17. 森田 真一 11月24日 11:14	2	学校給食について	① 給食の現状と今後の課題
	1	高齢者医療・介護の負担について	① 今年度より要介護1・2の方の施設入所の制限が導入されました。また、当市では要支援1・2の方の生活介護の総合事業への移行が始まりました。これらの介護サービスの利用制限や置き換えによって高齢者の生活や事業所の運営などに支障をきたしているという声を聞きます。市の認識と対応を伺います。
	2	ごみ減量について	① 新たな東大和市一般廃棄物処理基本計画（ごみゼロプラン）の素案が示されました。当市のごみ減量について現状と課題を伺います。
	3	自転車等駐車場について	① 今秋より各駅の自転車等駐車場整備が完了し有料化が始まりました。市民からは「本来必要な収容台数が確保できていないまま市営駐輪場が有料化されたため、より高額な負担を強いられる民間駐輪場を利用せざるをえなくなった」「夜明け前か

<p>(森田 真一)</p>	<p>4</p>	<p>都バス梅70系統の自治体負担について</p>	<p>ら抽選に並ぶためそれができない事情がある者は抽選に応募さえできない」といった声も寄せられています。現状と課題を伺います。</p> <p>市は、現在都バス梅70系統の維持のため、赤字額の一部を負担しています。一方、梅70系統より採算が悪い路線の沿線自治体では負担がないところもあると聞きます。</p> <p>① 負担の根拠は何か。</p> <p>② 近隣自治体にも呼びかけて都に見直しを求めることができるのではないのでしょうか。市の見解を伺います。</p>
	<p>5</p>	<p>災害時における乳幼児連れの親子や妊産婦等のヘルプカードの利用について</p>	<p>① 東日本大震災などの大災害の際、避難所などで乳幼児を連れた親や妊産婦は周囲に必要な支援を求めることが難しいため、水・食料や衛生用品の物資配給などが得られなかった事例があることが専門家から指摘されています。適切な支援をするために避難所等に専用のヘルプカードが準備されることが必要だといいます。市の見解を伺います。</p>